

■演題：「安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場」の実現へ

■日時：2021年5月19日（水）15：00～16：00

■講師：株式会社小松製作所 執行役員 スマートコンストラクション推進本部長 四家 千佳史（しげちかし）氏

■略歴：1968年福島県生まれ、1997年に株式会社BIGRENTAL（本社：福島県郡山市/建設機械レンタル業）を社員3名で創業、2008年社員数700名までに成長した同社とコマツレンタル株式会社(コマツ100%出資)が経営統合、同時に代表取締役社長に就任。2015年1月にコマツ執行役員スマートコンストラクション推進本部長に就任、現在に至る。

■概要：

コマツの経営の基本は、「品質と信頼性」を追求し、企業価値を最大化することです。そして、その「企業価値」とは、我々を取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和であると考えています。信頼度を向上するためには、企業の社会的責任を自覚して行動するとともに、「コーポレート・ガバナンスの充実」と「ものづくり競争力の強化」に努めなくてはなりません。この考え方を基盤として、「ブランドマネジメント」を導入することによって、コマツグループ社員が「企業の立場」から「お客さまの立場で考える」ように意識改革を図り、コマツグループの体質強化と人材育成を進めています。

中期経営計画では、「ダントツバリュー」というスローガンを掲げ、製品の高度化を目指す「ダントツ商品」、稼働の高度化を目指す「ダントツサービス」、施工の高度化を目指す「ダントツソリューション」をレベルアップさせ、顧客価値創造に取り組み、収益向上とESG課題解決の好循環を生み出すことを目指しています。

建設現場では長らく、熟練の職人が活躍してきましたが、少子高齢化で変化を余儀なくされています。そのためにも施工のDX化は不可欠と考えます。建設現場のデジタル化を加速させるために、モノ（機械の自動化・自律化）とコト（施工オペレーションの最適化）で、施工のデジタルトランスフォーメーションを起こし、「安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場」をお客さまと共に実現していきます。

それらを通して、社員たちに『何かが変わりそうだ』『面白いことが起きるかもしれない』とワクワク感を持ってもらえることは、DXビジネスの加速にもつながります。

また、将来を見据えて、先端技術を社内へもたらす新世代の社員の育成も重視しています。

本講演では、これらの取組について、ご説明します。

